

# スカウトみやぎ

スカウトキャップ・活動帽に歴史あり!!

日本ジャンボリー・世界ジャンボリーなどへ参加された先輩方に  
貴重な経験、楽しかった思い出、苦しかった体験を聞いてみませんか?

2021.11.1  
NO.56



■ 数ある活動帽から選りすぐりの帽子を掲載しました。いつの年の何の大会で使用された帽子か分かりますか?

■ それぞれの紹介は、最終ページをご覧下さい。

SAFE  
FROM  
HARM



そなえよつねに  
ボーイスカウト

# ～スカウトと社会をつなぐ～

## いま社会に必要とされるボーイスカウト 仙台第1回 団委員長 和田剛和

昭和57年東京のホテル火災で、ボーイスカウト経験者がベッドのシーツをテグス結びでロープのように繋いでいき、自分のみならず下の階の他の宿泊者も助けた話があります。また、トラックが溝にはまり牽引ロープで引き上げようとしたが重すぎて切れてしまった。ボーイスカウトを経験した方が切れたロープを結び、あっとゆう間に三つ編み束ね太くなったロープを使って溝から脱出できたという話を聽きました。

ボーイスカウトには「そなえよつねに」というモットーがあります。どのようなことがあっても乗り越えられる知識と心構えを持つことにより様々な事態において冷静に対処しようということを意味しています。

ロープが必要となった時、その場に無いなら何を代わりにすればよいのか。どのように工夫すれば目的に合った対処が出来るか。創造力や知識を持つことによりどのような事態において冷静に対処できるということです。

いま中小企業の経営に携わっている私にとって、ボーイスカウトでの経験は組織運営、コミュニケーション能力、本質の捉え方など、自己の成長に大きく影響されております。

東日本大震災やコロナ禍において、臨機応変に会社経営を進めることができているのは、まさにそこで培った体験や経験のおかげと信じております。

いま社会では多様性、経済格差、急激な情報化、働き方改革、少子高齢化、温暖化に伴う自然災害、さらにはこのコロナ禍など予測不能な時代となっておりますが、ボーイスカウトでの経験は、その変化に対する対応力につけるチャンス。

学校で学ぶことが少ない、柔軟性、応用力、コミュニケーション力を磨くことにより、予測不能な社会に必要とされる人に近づくため、ボーイスカウト経験が必要とされると信じています。



## スカウト活動と社会 石巻第2回 RS隊 伊東謙信



私がスカウト活動に参加したのは約15年前。そこから16NJやオーストラリア短期留学といった様々な貴重な体験をし、現在の所属と役務はローバースカウト兼ボーイ隊副長をしております。

私はこの春、中学生からの夢であった国土地理院に就職しました。国土地理院は茨城県つくば市にあり、主要業務として「測る」「描く」「守る」「伝える」の4つがあります。「測る」とは電子基準点や水準点の整備や測量といった位置の基準を定めること、「描く」とは全ての地図の基礎となる地図の作成、「守る」とは災害時の空中写真撮影、測量による防災情報の収集・提供、「伝える」とは自然災害伝承碑の地理院地図への記載等の防災地理情報の提供を意味しています。

敷地内には地図と測量の科学館があり、地図や測量の歴史や新技術などを展示しております。つくばに来た際にはぜひご来館ください。

いま働くうえで、スカウト活動で培われたコミュニケーション能力に助けられております。仕事は係や課ごとに行うため、スカウト活動での班や隊といった集団での活動が仕事でも活かされております。

また、これまで体験してきたことは、自己紹介やちょっとした雑談の話の種になり、同僚などの関係性を深めるのに役立っております。

そこで感じたのは、普段の活動だけでなく、ジャンボリーやキャンポリーといった大規模な大会には積極的に参加するべきだということです。普段の活動とは違う団や県、國の人たちとの交流はコミュニケーション能力を大きく上達させ、初対面の人との交流にあまり抵抗が無くなります。このことは、学校でも仕事でも大変役に立ちました。これらの体験は滅多にできないようなことでもあるため、普段の会話や面接の際に活用できます。

つくばに来てからというものスカウト活動には参加できていませんが、これからもスカウト活動に携わっていきたいと考えております。



## ～ボーイスカウトを続けていて良かった！！～ 仙台第37回 吉田幸弘



小学生卒業の時期になると、色々と忙しくなるからという理由で「ボーイスカウトを続けるのは無理かな」と考える人も多くいます。そして辞めていく人がいる。残念な気持ちになります。しかし、そんな私も中学生の頃、部活動や他の習い事があり、ボーイスカウトを続けるのは難しいと考えた一人です。

そんな時、「出来る事からやろう」という考えを持つようにし「根を詰めて、先の事を考えて、分からないのだから。」と気楽に構えていました。あとは、気分転換程度にスカウト活動を続けていました。

話は飛躍して、将来、皆さんは就職活動をします。その時必ず企業側に提出する、履歴書の趣味特技の欄に何を書きますか。私の場合、その欄にキャンプ（ボーイスカウト）と書きました。運が良かったのか、企業面接の時、面接官がボーイスカウト経験のある方で話が弾んだ事がありました。会社の採用面接を進める人事担当者は、面接受験者の今までの経験を確認する為、小さい頃の習い事やボランティア活動があるか等を質問します。

それは、一芸に秀でた人材か、リーダーシップのある人間か確認するという意味もありますが、何よりも個性を知りたいからです。今、皆さんのが続けているボーイスカウトは個性を磨いているのです。その個性を大事にしてください。どんな物事でも続けていくと多少なりとも悩む事、苦しい事等あります。しかし、苦しい事を克服した時は、達成感を味わえます。加えて、長く続けていくと新しい友が出来、自分を新たに磨く事が出来ます。皆さんも自分磨きという視点でボーイスカウトを続けてください。



# GO SCOUTING!

## 対面活動の再開は6月から 泉第1団 広報連絡員 三枝 慎



泉第1団では、対面活動自粛期間中の4月～5月に、各隊とも自宅で出来るスカウト活動やリモート集会などを実施しました。

対面活動を再開した6月に団合同活動・七北田川の清掃奉仕活動、7月に地元のお寺さんの協力で坐禅会を行いました。

BVS隊は、地下鉄乗車体験や科学館見学、おうちスカウティング発表会を実施。CS隊は、電車に乗って仙台市内の町探検を行ったり、花山青少年自然の家で2泊3日の舎管を実施しました。

BS隊は入隊キャンプや野外調理キャンプ、そして3泊4日の東部地区合同BS大集会に参加、VS隊は入隊歓迎キャンプを行いました。

参加者は感染対策を徹底しながら活動を楽しんでいました。それぞれの内容は、泉第1団のブログに全て紹介しております。

このような状況でも各隊で出来ることを一生懸命取り組んでおります。これからもコロナに負けずに楽しいスカウト活動を行っていきたいと思います。



泉第1団のブログは  
こちらからご覧下さい

## 満喫した夏遊び 石巻第6団 広報連絡員 相澤光一



新年度のスタートは、ウイルス感染の拡大に阻まれ、各隊とも対面活動を中断。6月以降の感染状況の減少によって活動の再開が指示されるとともに、ビーバーからベンチャーまで各隊毎のスケジュールにより、延期されていた入隊式・上進式を実施しました。

猛暑による危険を避けながら、夏遊びを満喫することもできました。ビーバー隊とカブ隊合同の海遊びでは、活動エリアを波打ち際に限定しながら、もやい結びと空ペットボトルの浮力をを使ったセルフレスキュー訓練を実施。みんな上手に水面に身体を浮かせることができました。

後半ではコロナ禍のストレスを大きなスイカにぶつけるようにしてスイカ割り、そして激しいスイカ喰べ競争で楽しみました。

## 毎年恒例の夏季キャンプ 白石第1団 BVS隊 隊長 井上淳一



白石第1団では、毎年恒例の夏季キャンプを8月7日に国立花山青少年自然の家南蔵王野営場で実施しました。

コロナ禍での実施であり、日頃の感染防止対策に加え、他の利用者との接触を極力避けるよう配慮しました。

当日は天候に恵まれ、ビーバー、カブ、ボーイ隊のスカウトに加え、入団希望の見学者も参加しました。

沢沿いの遊歩道をハイキングし、途中の沢で水鉄砲を使った射的ゲーム。キャンプサイトでは竹を使った弓矢工作、作った弓矢での的当てゲームなど盛り沢山のプログラムにどのスカウトも楽しい時間を満喫していました。

ボーイ隊は、コロナ禍で宿管を断念することとなりました。一日も早く通常の活動ができればと感じた活動でした。



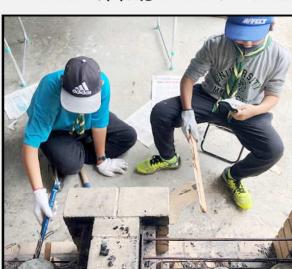
## コロナ禍でのキャンプ 仙台第1団 BS隊 隊長 佐藤有一



対面活動禁止解除後の5月～7月の間に当団ボーイ隊は計3回のキャンプを実施しました。5月のテーマは「新人歓迎」、6月は「技能訓練」として南蔵王野営場で各1泊、7月は前半期のまとめとして、花山青少年自然の家キャンプ場で2泊の活動でした。

どちらの会場も他団体と接触しない場所を選び、現地の環境を生かした活動プログラムを実施。地図やコンパスの大切さを知ることができます。

6月は感染リスク低減とスカウトの技能向上のため、食事の準備や薪の火熾しも含め、すべて個別に行う「集団ソロキャンプ」のスタイルも試しました。参加したスカウトたちには普段のスカウトキャンプとは違う面白さがあったようです。



# GO SCOUTING!

## 県北地区ラリー 広報連絡員 富士原孝一



県北地区は現在、高清水第1団と迫第1団の2つの団で構成されており、毎年地区内のスカウト交流を目的とした県北地区ラリーを実施しております。今年度は、登米市南方町大嶽山交流広場（ボーイ隊以上は野営、カブ隊以下は大嶽交流ハウスに舎営）を会場に、7月31日から1泊2日で実施しました。

初日は、クラフトとして割りばしを使った輪ゴム鉄砲を作りました。一定の年代以上だと割りばし鉄砲は定番の手作りおもちゃですが、スカウト達にはなかなか難しかったようです。それでも、何とか完成させ、駄菓子を的にしたゲームを楽しみました。

また、夜にはキャンプファイヤーを実施し、夜空の下で楽しい時間を過ごしました。

二日目は、大嶽山交流広場から迫公民館まで約5kmのハイキングを行いました。真夏の太陽が照り付ける中いくつもの課題をクリアしながら、一人も脱落することなくゴールすることができました。

コロナ対策で活動内容も配慮が必要でしたが、野外で活動するスカウトは皆イキイキしていました。

## 海と緑と仲間のお陰！ 仙台第2団 BS隊 副長 佐藤由瑞美

2021年8月7・8・9日に仙台第2団ボーイ隊は松島自然の家でキャンプをしました。

今回の目玉はいかだ作りでロープワークを発揮する良い機会でしたが、台風で中止。

しかし、宮戸島へのサイクリングでの大津波で立ち枯れた松林や民家のない様子も含め幕営地周辺の地形を確認しました。

夕食は隊炊事で、リーダーの私も訓練を兼ね薪割りと炊飯を久しぶりにやりました。

2日目は雨、縄文村歴史資料館で勾玉やシカの角のキーホルダーを作りました。折しも今年、三内丸山遺跡がユネスコ世界文化遺産に登録され、東北の縄文文化に触れるよい機会にもなりました。夜はボンファイヤー。隊長のウクレレに合わせソングやゲーム、花火も楽しみました。



3日目には2級章課題の小麦粉料理に挑戦。「チャパティピザ」は大変美味でした！撤収も帰りのバス時間にきっちり合わせました。

班としては備品・時間管理、パッキング改善など伸びしろ満載ですが、班長はしっかり後輩を指導していました。去年は途中帰宅の班員も今年はフルで参加し、優秀スカウトに表彰されました。何より嬉しかったのは、来た時より帰るときの方がスカウトたちが元気になっていたことです。海と仲間のお陰ですね！キャンプ以降、持ち物リストや連絡網を更新し日々の改善に努めています。

## ようやくの上進式 鹿島台第1団 CS隊 吉岡長一



昨年から続く新型コロナ感染症の影響で、今年度の上進式・ちかいの式が延期になっておりましたが、3か月遅れの7月11日（日）によく行なうことが出来ました。今年はビーバー隊・カブ隊・ボーイ隊それ



ぞれ上進するスカウトがあり、真新しい制服に身を包み、堂々と新たな隊に入隊しました。

当日は、あいにくの雨でしたが、スカウトたちは元気いっぱい走り回っていました。

新しい制服が泥だらけになったのは、良い思い出になったと思います。

## いっしょにスカウティング！

### High Adventure 仙台第1団 VS隊 隊長 和田 悠佑



どの隊よりも高度な野外活動を…

自粛期間の合間にみて、6月は、50Kmのオーバーナイトハイクを泉1団のV S隊と合同で、8月は電気・ガス・水道一切なし、開拓ありのガチサバイバルキャンプをR S隊と一緒に行いました。

冬はボルダリングと本格的な雪中キャンプをしたいとスカウト達は考えているようです。

今年はコロナ禍もあり、あまり他団と一緒に活動ができずじまいですが、もし、活動に興味がある！！混ざりたい！！と思っている方がいらっしゃれば、下記アドレスへご連絡ください(‘◇’)ゞ

このQRコードを  
スマホで読んで混ざりたいメール  
送って下さいね！



仙台1団VS隊 隊長 和田 悠佑 sendai1\_vs@miyagi.scout.jp

# いっしょにスカウティング!

## ふだんできない事ばかり 名取第1回 カブ隊 くまスカウト 安藤月華



夏キャンプでは色々なことをしましたが、一番楽しかったのは海で泳いだことです。初めて海に入ったのでわくわくしました。

大変なこともあります。全部で十六個のテントを立てないといけなかったので苦労しました。ペグをトンカチで打つ時、指も打ってしまってとても痛かったです。同じ作業を何回もしたので、五回目には手順とコツが分かりました。

かまどの火おこしも大変でした。マッチに火は着くのですが木に移して広げるのが上手にできず、マッチを五本使って火をつけることができました。軍手に火が燃え移るハプニングもありドキドキしました。時間がたつと煙が出て、ずっと火の前にいて火力調節していたら目にしみて涙がでました。大変なことはたくさんありましたが、ふだんできない事ばかりでやって楽しかったです。いい思い出になりました。

## カレーのかくし味は？ 名取第1回 カブ隊 くまスカウト 石田唯翔



夏キャンプの内容は大きく分けて6つの活動をしました。それはテントの設営、海水浴、ご飯作り、花火、テント撤収、ごみ拾いです。その中でも1番楽しかった活動は、ご飯作りです。楽しかった理由は、みんなでいっしょにご飯を作ることで、友達と役割分担して作った事が楽しかった理由です。

カレーは、組ごとに隠し味を考えて作りました。僕の組の隠し味は5つあって、ヨーグルト、チョコレート、インスタントコーヒー、トマトジュース、ポテトチップスでした。作る前は、すっぱくなるかなと心配でしたが、出来上がってみたらコクが出ていてすごくおいしかったです。みなさんはどんな隠し味をいれますか？今度会ったら教えてください。



## 思い出の夏キャンプ！ 名取第1回 カブ隊 くまスカウト 布田唯理



8月7日から8月9日まで、カブ隊のキャンプで松島自然の家に行きました。今回のキャンプで思い出に残ったことは、夜ご飯作りです。

ご飯作りで一番難しかったことは、マッチ三本で火を着けることでした。三本でやることがものすごく難しかったです。なぜかというと、火を着けてもまわり木にはすぐに火が着きにくいのです。火はうすい木のほうが着きやすいので、いきなり厚い木に着けてもすぐに消えることを知りました。そしてやっと火が着いた時、とってもうれしかったです。その火で肉をいためたり、焼いたりしました。三日間で、カレー、焼きそば、ゆでとうもろこしなどを作りましたが、どれも全部おいしかったです。夏のキャンプ、とても良い思い出になりました。



## ぜんぶ楽しかった！ 名取第1回 カブ隊 うさぎスカウト 佐藤友莉

8月7日から9日まで、松島自然の家で夏キャンプをしました。テントにねるのがはじめてだったので楽しみでした。1日目に海に入りました。水が少ししょっぱかったけど気もちよかったです。貝がらを拾ったり、すなであそんだり、とても楽しかったです。夜には、みんなでカレー作りをしました。組ごとに「かくし味」を入れました。

わたしの組は、コーヒー豆、ヨーグルト、ポテトチップス、トマトジュース、チョコレートを入れました。どんな味になるか心配でしたが、おいしかったです。

カレーを食べた後は花火をしました。隊長が「星がきれいだよ！」と言っていたので空を見たら、すごく星がきれいでした。

雨がふって、できなくなってしまったこともあったけどぜんぶ楽しかったです。

来年は、ぜんぶの日が晴れるといいなと思いました。



## あっというまの三日間 名取第1回 カブ隊 うさぎスカウト 小嶋玲央



ぼくはカブ隊のキャンプで松島自然の家に行きました。ぼくはテントにとまるのがはじめてで、ねれるかどうか心配でしたが、初日の夜はねむれませんでした。二日目はつかれて、ねてしまいました。

三日間のキャンプで一番楽しかったことは、海で泳いだことです。僕は、海で泳いだことがなかったので「海の水はしょっぱくて、ふかいいな」と思いました。いっぱい遊んで、さいごに海の上でうかんだりしてとても楽しかったです。

いろんなことをけいけんして、あっというまの三日間でした。また来年もさんかしたいなと思いました。



# いっしょにスカウティング!

## いっしょにスカウティング 泉第2団 団委員長 大橋優子



ビーバー隊は笑顔があふれる活動が待ち遠しい気持ちになってもらうための、スカウト活動の入口だと思います。カブ隊になると日常生活では経験、体験できないような活動がさらに出来るようになります。年齢に合わせて自主的な気持ちを尊重しながら次につなげる基礎を学んでいきます。ボーイ隊はさらに自主性を重んじ、活動の幅も増え、学校では学べない様々な体験、経験を積んでいきます。その中の一つが多種多様な人々との交流があります。この交流の場は感受性豊かな中高生たちには大きな刺激となっているようです。ベンチャー隊は今までの経験を生かし、より自主的な活動を行っています。継続することでそれぞれの隊の魅力を感じていただけるのではなうか。



## カブ隊に上進！ 楽しいことやおもしろいことにチャレンジ！

石巻第6団 カブスカウト隊 半澤咲幸



私はビーバー隊からカブ隊に上進して、楽しいことやおもしろいことをいっぱい体験することができました。中でも釣りや町探検、ロープワークが楽しく、おもしろかったです。

釣りでは、魚を釣ってからさばいたり揚げたりしたのが楽しかったです。町探検は、訪ねた町を歩いて探検し、歴史やその町ならではの仕事をしているようすを見たりするのが楽しいし、良いところを見つけたりできました。ロープワークは、はじめはどのように結ぶのか分からなかつたけれど、結べるようになるとロープで遊んだり、どっちが早く結べるか対決もできるし、縄とびもできるから楽しいです。

皆さんもカブ隊に上進したら、いっぱい楽しいことやおもしろいことがあるので、いろいろなことにチャレンジしてみて下さい。

## カブ隊にないボーイ隊の魅力！ 仙台第1団 BS隊長 佐藤有一

ボーイ隊の活動は、スカウトが自分たちで考えて準備し行動します。リーダーは基本的に見守り役。サポート役は上級班長、指示を出すのは班長です。

キャンプは、基本テント泊。設営や撤収、調理などすべて自分たちでやりますが、そのかわり活動内容や食事も自分たちで決めることができます。きちんと計画をつくり、必要な道具や技能をしっかり準備すれば、カブ隊よりも中身の濃い、楽しい活動にできるのです。

仙台第1団ボーイ隊は、平均月1回のペースでキャンプをしていますが、そのたびに進級課題に対応した班対抗ゲーム仕立てのプログラムを実施しているので、仲間と楽しくキャンプをしながら進級課目の履修も進めることができます。

## ボーイスカウトハンドブックを読もう！ 塩釜第1団 VS隊 加藤 寿哉



昨年から新型コロナウイルス感染の影響でスカウト活動が突然中止になってしまったことがありました。スカウトの皆さん大変だったと思います。今後もまだどうなるのか分からぬ状況です。

ですが、そんな時こそ「スカウトハンドブック」をじっくり読んでみてください。

ハンドブックには、スカウト活動のための知識やアドバイスがたくさん書かれています。活動が再開し、隊集会や班集会の中でハンドブックを読んでいたことが、きっと役に立ちます。そしてそれが、進級課目の履修にもつながっていくものと私は思っています。スカウトの皆さん、ハンドブックをしっかり読んで「進級課目達成」を目指して頑張ってください。

## ソングの魅力を再確認してみませんか！～スカウトソング“あるある”演奏編～

仙台第37団 BS隊 吉田幸弘

コード	使用する音
F	ファ・ラ・ド
C	ド・ミ・ソ
B <sup>b</sup>	シ <sup>b</sup> ・レ・ファ
G	ゾ・シ・レ
C <sub>7</sub>	ド・ミ・ゾ・シ <sup>b</sup>

例 光の路で使用するコードと使用する音

スカウトソングは3つの共通点“あるある”があります。

●長調：明るい曲

●ファが最後の音、シガ<sup>b</sup>（フラット半音下がる）→へ長調

●各小節に音符が4音符あるのに、歌い出しへは4音符無い→アウフタクト

光の路（16頁）永遠のスカウト（23頁）われらの旗（30頁）みちのくの（32頁）は、あるあるのルールに一致します。

皆さん、楽譜にあるアルファベット見てください。

4つ目のあるあるに気づきませんか。

答えは、Fで始まり、Fで終わっています。このF等のアルファベットはコード（和音）です。ピアノ・鍵盤ハーモニカ等の鍵盤楽器で演奏する場合、左手でコードを弾くと、曲の完成度がupします。例で光の路で使うコードを紹介します。



鍵盤楽器で演奏する場合、最初は、右手で自分でもゆっくりと感じる位弾いてください。ゆっくり弾くことで、曲の流れを覚えます。

右手に自信がついてきたら徐々に左手でコードを組み合わせ弾いてみてください。

演奏に最も必要なのは、演奏曲を好きになる事です。好きになる事で、想いがうまれ、その想いは人を感動させます。

演奏技術や楽譜にある記号等は後から自然と身につきます。好きなスカウトソングを探しながら、コードを組み合わせた演奏の違いを味わい、スカウトソングの魅力を再確認してみませんか。

# いっしょにスカウティング!

## ボーイスカウト上進のすすめ 石巻第2団 RS隊 伊東龍之介

自分は現在社会人として働いています。社会で大事だと思うのは、豊かな人間性、深みのある人格の形成だと思います。それには“経験”が必要です。

ボーイスカウト活動では非日常的な経験が出来ます。上進すれば勿論、より多く、高度で、また数々の種類の経験が身につきます。それらで培われた人格は、ここぞという場面で真価を発揮します。

私自身、職場で人一倍劣っており、上手くいかないことが多く、苦労しています。

しかし、本番に強かったり仲間が困っている時相談にのったり、時に場を和ませたり、、、

間違いなくこれらは多くの経験を培ってきたからだと確信しています。なので是非、上進する事をおすすめします。



## フィリピンのスカウトとのオンライン交流会 名取第1団 布田宗久



7月末、フィリピンのマニラ首都圏ナボタスのスカウトから名取第1団のウェブサイトに突然メッセージが届きました。

「週末に私達はサバイバルキャンプを行います、それまでにWorld Brotherhood章を取りたいです。スカウト同士の国際交流会をあなた達と行えませんか？」

私達はそのスカウトの行動力、熱意、勇気を感じ、急遽ではありましたが、宮城県連盟国際チーム員の佐藤由瑞美様に通訳に入ってもらい、オンライン交流会を実施いたしました。

オンライン交流会の参加スカウトはフィリピンのシニアスカウト（13～19歳）4名と名取第1団のボーイ隊10名。7/29（木）、7/31（土）の2日間にセッションを分けて実施しました。

1日のセッションはフィリピンのスカウトからフィリピンの文化慣習・スカウト活動についての紹介、2日目のセッションは名取のスカウトから同様の紹介を行いました。どちらのセッションもお互いのスカウトにとって、とても興味深い内容でたくさんの質問や意見が交わされました。

名取のスカウトは、フィリピンのスカウト達が用意してくれた資料や動画を見て、フィリピンと日本のスカウティングの共通点・相違点を知ることができました。特に学校単位で行われているというフィリピンでのボーイスカウト運動の活発さ、楽しさを知り、とても感銘を受けておりました。

今回のオンライン交流会によって、先方のスカウトたちは無事World Brotherhood章を得ることができたと、とても喜んでおりました。名取のスカウトはスカウト運動の世界的な繋がりをスカウト同士の交流から学んだようでした。また「英語を話せるようになりたい！」と思ったスカウトも多く、語学の必要性を肌で感じたようでした。

フィリピンのスカウト達の行動「何も繋がりのない外国の団にオンライン交流会のオファーをする」という行動はとても勇気がいることだったと思います。

何もないところを切り拓き新しいものを築いてゆくその姿が「とてもスカウトらしい！」と感銘を受けました。

名取のスカウトにも、世界中にそういうスカウト達がいて、その受け皿になってくれる団があることを、今回の活動によって身をもって知つてもらえたと思います。

そして将来、名取のスカウトも今回のフィリピンのスカウト達のような行動を起こしてくれることを期待しています。



## 魅力いっぱい！ボーイスカウト！

### スカウト活動の魅力 迫第一団 CS隊 保護者 後藤大介

昨年、息子が入団しました。スカウト活動を通じて自然と触れ合い、人として忘れてはいけない事、生きる中で大切な事を一緒に学ばせられる事が一番の魅力です。

6月にはフィッシング、テレビの舞台ともなった登米森林公園のハイキングでは子供達は歩き疲れながらも森林浴を満喫しました。7月に行われた1泊2日のスカウト交流活動ではミニゲームやカレーライス作りをし、夜はキャンプファイヤーととても楽しい活動があり、夏休みの思い出にもなりました。今この時代だからこそ、子供達にも、そして親の私達にも、スカウト活動を通して学ぶ事が沢山あり、大きな成長へと繋がるはずです。日頃お世話になっております隊員の皆さん、本当に感謝しております。



# 魅力いっぱい!ボーイスカウト!

## 入団・入隊して良かった 塩釜第1回 広報連絡員 伊藤 忍



時代の流れなのか、以前のような子どもだけの縦割り活動の機会が減ってきているなと寂しく感じた頃ボーイスカウトを知り、息子をビーバー隊に入団をさせました。

入団してみると、先輩スカウトへの憧れと尊敬の気持ちがごく自然に息子に芽生えていることに気がつきました。持ち物や体験するプログラムがそれぞれの段階でしっかり定められていることも、上進する期待と楽しみにつながったのだと思います。

そしてなんと言っても、仲間と協力し励まし合って一つのことを成し遂げる貴重な体験は、家族だけでは与えることができない特別な経験だと実感しています。

それは、ハイクやキャンプから帰ってきた時の息子の表情を見るだけで明らかでした。ボーイスカウトの活動や教えには、子どもの成長にとって大切なことが沢山詰まっています。

今回の寄稿をきっかけに、ビーバー隊からの息子の成長を振り返えり、改めて入団させてよかったですと感じています。



## ボーイスカウトに入隊して良かったこと 白石第1回 保護者 高橋陽子

娘と息子が参加しています。

ボーイスカウトの一番の魅力は、学校も学年も違う仲間が集い、活動できることだと思います。仲間と一緒に自然の中でのびのびと活動し、苦手なことは励まし合いながら何事にも最後まで粘り強く頑張る力が育っていると感じています。

そして何より、バーチャルの世界ではなく、実体験ができる面白さを存分に感じながらの活動は、心もより豊かにしてくれると思います。

「次はどんな集会かな？楽しみ！」と声を弾ませ話す子ども達の姿に入隊して良かったと心から思っています。



## 満足感が息子の表情に溢っていました 泉第1回 早坂 康

息子がビーバー隊の10kmナイトハイクに初めてチャレンジしたのは2018年、年長の時でした。途中でリタイヤしても大丈夫なように母親が車で待機していましたが、友達と夜歩く楽しさに疲れを忘れて歩き続けました。

それでも終盤は弱音を吐き、だましだまし歩かせました。そして間もなくゴールという時、後方からボーイ隊の一一行が駆けてきました。驚いた息子は立ち止まって目を見張りましたが、力強く黙々と走るボーイ隊の姿に触発されたのでしょう、ふいに走り出しました。

ゴール後、自分の力で踏破した達成感、満足感が息子に表情に溢っていました。親として、とても感動した瞬間でした。

この時に頂いたキーホルダーは親子の宝物となりました。現在は、カブ隊の一員として活動に励んでいます。より充実した活動が展開できるよう、一保護者として今後も協力してきます。



### 【表紙の活動帽は、以下の大会で使用されました】



- |                                 |                                   |   |
|---------------------------------|-----------------------------------|---|
| ① 4TH SENDAI CAMPOREE           | ⑧ 1991 17TH 世界ジャンボリー 大韓民国         | ⑯ 2003 7 TH CAMPOREE 2003.8 35TH ANNIVERSAR |
| ② 1910-2010                     | ⑨ 1993 10TH 東北キャンボリー 1993 宮城 蔵王   | ⑰ 2003 20 TH 世界ジャンボリー タイ 2003               |
| ③ 1984 日本ベンチャーリー'84 SHIROISHI   | ⑩ 1997 11TH 東北キャンボリー 1997 秋田 森吉   | ⑯ 2005 2 TH 北海道・東北キャンボリー 北海道 帯広             |
| ④ 1985 宮城県連盟創立35周年 PIONEER'85   | ⑪ 1998 12TH 日本ジャンボリー 1998 秋田 森吉   | ⑰ 2006 14TH 日本ジャンボリー 2006 石川 珠洲             |
| ⑤ 1986 9TH 日本ジャンボリー 1986 白石     | ⑫ 2000 MINAMI ZAO CAMPOREE50 2000 | ⑯ 2012 4 TH 北海道・東北キャンボリー 山形 坊平              |
| ⑥ 1988 9TH 東北キャンボリー 磐城'88 8.4~8 | 50ANNIVERSARY MIYAGI              | ⑰ 1992 10TH 日本ジャンボリー 新潟 妙高                  |
| ⑦ 1990 10TH 日本ジャンボリー 妙高高原       | ⑬ 2002 13TH 日本ジャンボリー 2002 大阪 舞洲   | ⑯ 1994 11TH 日本ジャンボリー 大分 久住                  |
|                                 | ⑭ 2003 20 TH 日本ジャンボリー 2003        |   |
|                                 | ⑮ 2005 2 TH 日本ジャンボリー 2005         |   |
|                                 | ⑯ 2006 14TH 日本ジャンボリー 2006 石川 珠洲   |   |
|                                 | ⑰ 2012 4 TH 北海道・東北キャンボリー 山形 坊平    |   |
|                                 | ⑱ 1992 10TH 日本ジャンボリー 新潟 妙高        |   |
|                                 | ⑲ 1994 11TH 日本ジャンボリー 大分 久住        |   |

### ■編集後記

宮城県連盟に関わる活動帽の一部を掲載しました。楽しかった思い出、その時の体験を今スカウトにも味わせたいですね。

さて、「スカウトみやぎ56号」社会人となった先輩スカウト、縁あって入隊いただいたスカウト保護者のみなさまから、活動の魅力について寄稿頂きました。知っているようでも知らないボーイスカウトの魅力。やっぱりボーイスカウトっていいですよね！

広報委員会 副委員長 スカウトみやぎ担当 高橋修

(表紙に掲載している活動帽は、前・柿沼広報委員並びに佐竹広報委員長よりお借りしました)

■発行日	令和3年11月1日
■発行	日本ボーイスカウト宮城県連盟 〒985-0841 多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号 (宮城県多賀城分庁舎)
■発行人	電話 022-355-6265 日本ボーイスカウト宮城県連盟 理事長 日下 清
■編集人	日本ボーイスカウト宮城県連盟 広報委員会委員長 佐竹孝喜